

ポータブル・ラジカセ【DIDICA(デジカ)】

シーアール ユー エス ディー
商品型番：**CR-999USD**



このたびはお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この説明書は、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱い方を示しています。
ご使用前に必ずこの説明書をお読みのうえ、製品を安全にお使いください。
お読みになった後は、いつでも見られるところに必ず保管してください

本製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

目次

セット内容	2	カセットテープを聴く	9
主な仕様	2	メディアプレーヤー	10
安全上のご注意	3-4	カセットテープへ録音する	11-12
各部の名称	5-6	お手入れの仕方	13
電源について	7	故障かな?と思ったら	14-15
共通操作	7	付属品販売のご案内	15
ラジオを聴く	8	保証とアフターサービス	16

セット内容

※箱を開けたら、以下のセット内容を必ず確認してください。

- CR-999USD本体
- 電源コード(本体の電池収納部に入っています。)
- 取扱説明書(保証書付/本誌)

主な仕様

電源	家庭用電源: AC100V 50/60Hz	
	乾電池: DC6V 単一型×4個使用	
消費電力	13W	
スピーカー	実用最大出力: 3W + 3W 再生方式: モノラル	
出力端子	イヤホン: Ø3.5mmミニ 再生方式: モノラル	
ラジオ	受信周波数	AM: 522 kHz ~ 1710 kHz
		FM: 76 MHz ~ 108 MHz
カセットテープ	対応テープ形式: Type1 (ノーマル) ※両面60分以内	
メディアプレーヤー	対応メディア: USBメモリ、SD/SDHCカード	
	再生可能ファイルフォーマット: MP3 (64~256kbps)	
	ディスク容量(最大): 32GB	
外形寸法(約)	幅: 290 × 奥: 115 × 高: 130 mm	
質量(約)	1.3kg ※乾電池含まず	

※仕様および外観は、製品の性能改善等のため予告なく変更する場合があります。

安全上のご注意

※電気製品は、正しく取り扱うことで安全にお使いいただけます。ご使用前に次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。
※注意事項は、危害や損害の大きさや切迫の程度を示すために「警告」と「注意」の2つに区分しています。

警告 この表示を無視して誤った取り扱いをしたときに、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意 この表示を無視して誤った取り扱いをしたときに、人が傷害を負ったり、物的損害の発生が想定される内容を示しています。

お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。

- △ の記号は「注意(警告を含む)をうながす事項」を示します。
- ⊘ の記号は「してはいけない行為(禁止事項)」を示します。
- の記号は「しなければならない行為(強制事項)」を示します。

警告

交流100V以外で使用しない
表示された電源電圧(AC100V)以外の電圧で使用しないでください。火災・感電の原因となります。

国外では使用しない
本機を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用できません。
This unit is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.

電源コードを傷つけない
無理な使いかたをすると電源コードが破損しますので、次のようなことはしないでください。
□電源コードの上に重いものを乗せる。 □途中でつぎ足したりなどの加工する。
□無理に折り曲げる。 □傷をつける。 □ねじったり、引っ張ったりする。
□熱器具に近づける。 □電源コードは束ねたまま使用する。
※電源コードが傷んだときは、お買い上げの販売店、または総発売元に修理をご依頼ください。
そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。

濡れた手で電源コードを抜き差ししない 火災、感電やけがの原因となります。

電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込む
差し込み部分は定期的に点検する
定期的な電源プラグと器具用プラグに付着したほこり、よれなどを取り除いてください。
ほこりにより、ショート・絶縁不良・発火・発熱が起こり火災の原因となります。

雷が近づいたら電源コードをコンセントから抜く
落雷による一時的な過電流により、電子部品損傷の原因となります。

分解・修理・改造はしない
火災・故障の原因になります。また保証期間内であっても保証の対象外となります。
内部に異物を入れない 火災・故障や感電の原因となります。
本体背面の通風孔をふさがない
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災・故障の原因となります。
異常・故障、破損時には、すぐに使用を中止し、電源プラグを抜く
お買い上げの販売店か発売元に修理を依頼してください。

安全上のご注意

警告

- ぐらついた台や傾いた所に置かない 落下しケガ・故障の原因になります。
- 温度の異常に高い場所で使用しない
- 調理台や加湿器の付近など湿気やほこりの多い所や、油煙や湯気が当たるような場所に置かない 火災・感電・故障の原因になることがあります。
- 駐車中の自動車内等、高温になる場所で保管しない 樹脂部品の変形の原因になります。
- 濡らさない 本機を濡らしたり、水につけないでください。ショート・感電の原因となります。

- 電池は正しいものを使用する
電池を交換する際は、同一または同タイプのものを使用する。
正しく交換されていないと爆発の危険があり、火災・感電やけがの原因となります。

注意

- 電源コードは付属のもの以外を使用しない
- 付属の電源コードを他の機器に使用しない 火災、感電の原因となります。
- イヤホン、ヘッドホンの使用時に音量を上げ過ぎない 聴力障害などの原因になります。

- 長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜く 火災の原因となります。
- 乾電池を取り扱うときは、次の事を守る
 - 指定以外の乾電池は使用しない。 □極性表示のプラスとマイナスを間違えて挿入しない。
 - 乾電池に表示されている「使用推奨期限」を過ぎたり、使い切った乾電池は本体に入れておかない。
 - 種類の違う乾電池、新しい乾電池と古い乾電池を混ぜて使用しない。
 - 長時間使用しないときは、本体から乾電池はすべて取り出す。
 - 本体から電源コードを抜いた状態で、乾電池を入れたまま長時間放置しない。
 - 水に濡らしたり、濡れた手で触らない。
 - 直射日光の当たる場所や火の近くなど、熱源の近くに置かない。

※発熱・液漏れ・破裂などにより、やけど・けがの原因になる事があります。
もし液に触れたときは、水でよく洗い流し、医師に相談してください。液が本体についた場合は、液に直接触れない様に拭き取ってください。

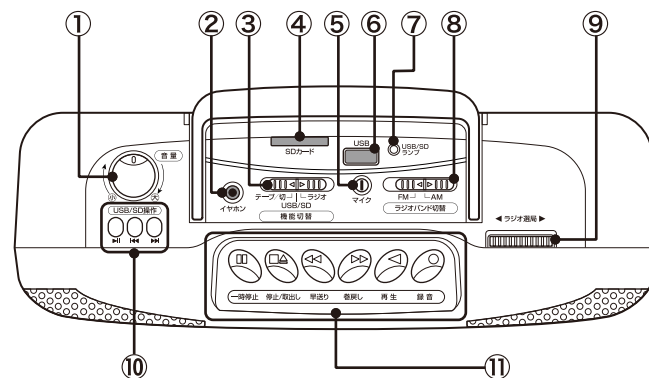
- 電源を切る前には音量を下げる
再度電源を入れたときに突然大きな音が出て、聴力障害などの原因になります。
- 持ち運ぶときは、FMアンテナをたたみ、電源プラグをコンセントから抜く

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの災害、および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故・お客様の故意または過失、誤用、その他の異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。
- 取扱説明書の記載内容を守らない事により生じた損害に関して、当社は一切の責任を負いません。

各部の名称

【本体上面】



- ①音量調整ダイヤル
- ②イヤホン端子
- ③機能切替スイッチ
- ④SDカード挿入口
- ⑤内蔵マイク
- ⑥USB挿入口
- ⑦USB/SDランプ
- ⑧ラジオバンド切替スイッチ
- ⑨ラジオ選局ダイヤル

⑩USB/SD操作部(左から)

- ⑩-①再生/一時停止ボタン
- ⑩-②前スキップ/早戻しボタン(長押し)
- ⑩-③次スキップ/早送りボタン(長押し)



⑪カセットテープ操作部(左から)

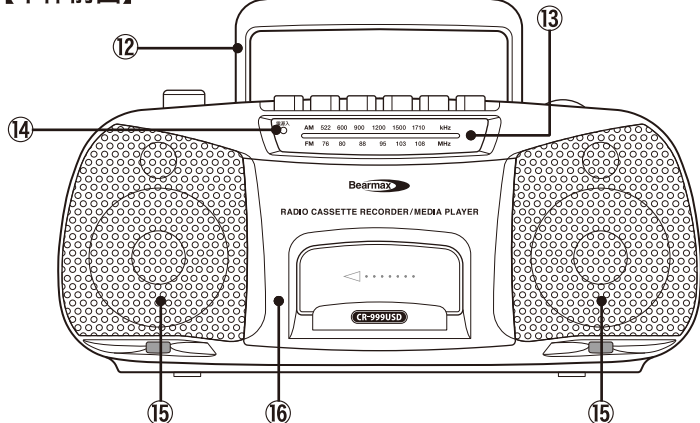
- ⑪-①一時停止ボタン
- ⑪-②停止/取出しボタン
- ⑪-③早送りボタン
- ⑪-④巻戻しボタン
- ⑪-⑤再生ボタン
- ⑪-⑥録音ボタン



一時停止 停止/取出し 早送り 巻戻し 再生 録音

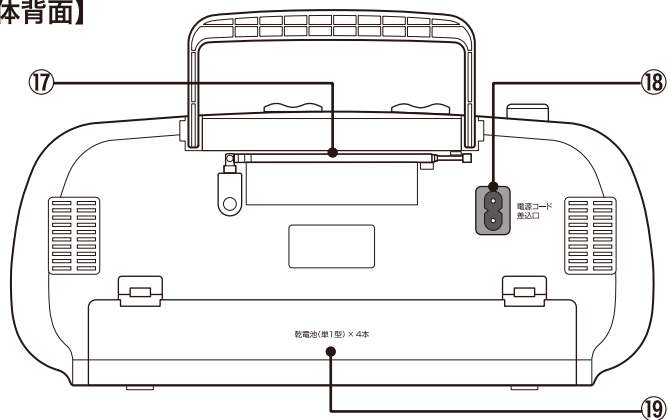
各部の名称

【本体前面】



- ⑫ハンドル ⑬ラジオインジケータ ⑭電源ランプ
⑮スピーカー ⑯カセットテープドア

【本体背面】

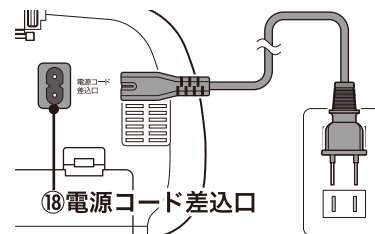


- ⑰FMアンテナ ⑱電源コード差込口 ⑲乾電池収納部

電源について

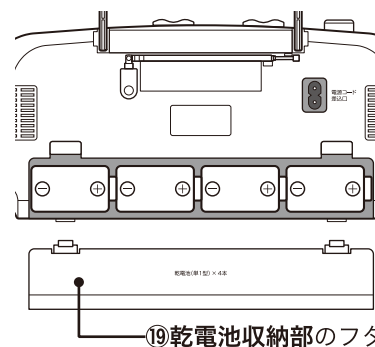
■家庭用電源でご使用の時

- 1 付属の電源コードの本体側用プラグを本体背面の⑱電源コード差込口に差し込みます。
- 2 電源コードの金属プラグをコンセントに差し込みます。



■乾電池でご使用の時

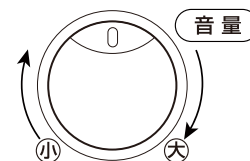
- 1 単1型乾電池(市販品/別売)を4本準備します。
- 2 ⑲乾電池収納部のフタのツメを押し下げて開きます。
- 3 単1型乾電池4本の極性(プラスとマイナスを間違えないように入れ、⑲乾電池収納部のフタを閉じます。



共通操作

■音量の調整

- ①音量調整ダイヤルを時計回りに回すと音量が上がり、逆方向に回すと下がります。
※スピーカーとイヤホン両方の出力音量を調整出来ます。

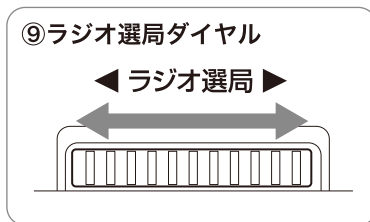
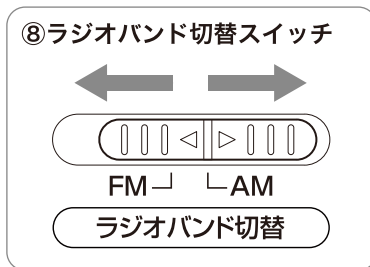
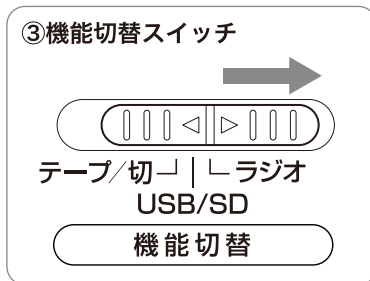


■イヤホン/ヘッドホンで聴く

- イヤホンまたはヘッドホン(Ø3.5mmミニ)のプラグを②イヤホン端子に接続します。
※イヤホンをつなぐと、⑮スピーカーから音は出ません。

○ ラジオを聴く

- ③機能切替スイッチをスライドさせ、【ラジオ】に合わせます。
※⑭電源ランプが点灯します。
- ⑧ラジオバンド切替スイッチをスライドさせ、FMまたはAMを選びます。
- ⑨ラジオ選局ダイヤルを回し、聴きたいラジオ局に合うように調整します。
※ラジオ局の周波数は⑬ラジオインジケータで確認します。オレンジ色のバーが、⑨ラジオ選局ダイヤルを右に回すと周波数の大きい方に動き、左に回すと小さい方に動きます。
- 受信を止める時は、③機能切替スイッチを【テープ/切】に合わせます。



ポイント

～ 受信感度を良くするには ～

FM：本体背面の⑰FMアンテナを伸ばし、⑨ラジオ選局ダイヤルを回しながら最も受信状態の良い方向へ向けてください。

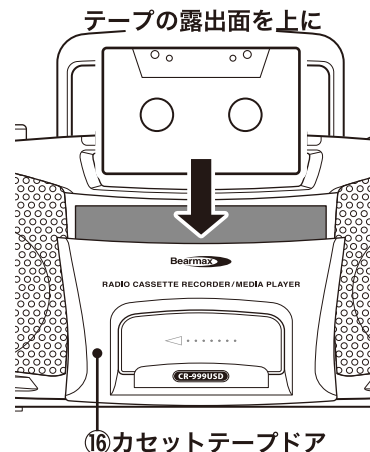
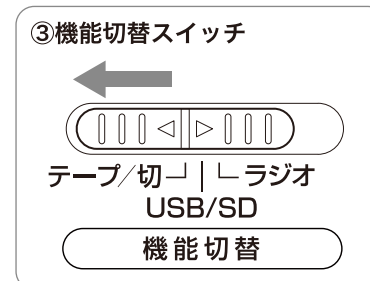
AM：乾電池を使用し、最も受信状態の良い場所(屋内の場合は窓際など)へ移動させてください。 ※電池を使用することによりノイズが軽減する場合がございます。

○ カセットテープを聴く

- 1 音声が録音されているカセットテープを用意します。
- 2 ③機能切替スイッチをスライドさせ、【テープ/切】に合わせます。
- 3 ⑪-⑫停止/取出しボタンを押して、⑯カセットテープドアを開けます。
- 4 テープの露出面を上にしてカセットテープをセットし、⑯カセットテープドアを閉じます。
- 5 ⑪-⑤再生ボタンを押すと再生が始まります。
※⑭電源ランプが点灯します。

【その他の操作】

- 再生を一旦止める
⑪-①一時停止ボタンを押します。
もう一度押すと再生を再開します。
- 再生を止める
⑪-②停止/取出しボタンを押します。
- 先に進める
⑪-③早送りボタンを押します。
- 前に戻す
⑪-④巻戻しボタンを押します。



※早送り/巻戻しでは自動停止しませんので、終わったら⑪-②停止/取出しボタンを押して下さい。

- △ カセットテープは、TYPE1（ノーマル）をお使いください。
- △ 60分以上の長時間カセットテープや、古いカセットテープはからまりやすく故障の原因となります。
- △ カセットテープのゆるみを直してからお使いください。

メディアプレーヤー

USBメモリ、SDカードに保存されたMP3ファイルを再生する事が出来ます。

△ 本製品ではUSBメモリ、SDカードへの音声の録音は出来ません。

- 1 MP3ファイルが保存されたUSBメモリまたはSDカードを用意します。
- 2 ③機能切替スイッチをスライドさせ、【USB/SD】に合わせます。
※⑦USB/SDランプが点滅、
⑭電源ランプが点灯します。
- 3 USBメモリまたはSDカードをそれぞれの挿入口(④または⑥)に差し込みます。
※SDカードは金属端子部を前にして差し込んでください。
- 4 自動的にMP3ファイルの再生が始まります。
※両方も差し込んでいる場合はUSBメモリが優先されます。

【その他の操作】

●再生を一旦止める

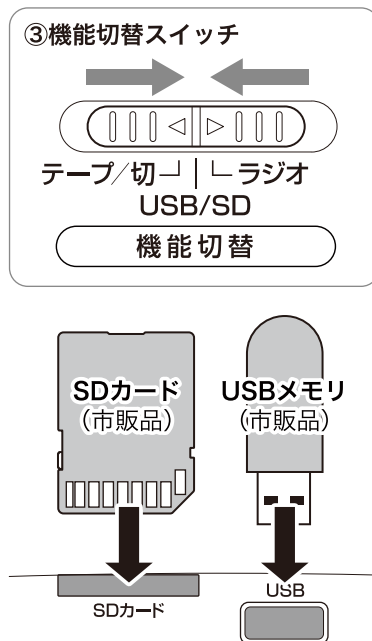
- ⑩-①再生/一時停止ボタンを押します。
※⑦USB/SDランプが点滅から点灯に変わります。
もう一度押すと再生を再開します。

●次のファイルに進める

- ⑩-③次スキップ/早送りボタンを押します。

●再生中のファイルを先に進める

- ⑩-③次スキップ/早送りボタンを長押しします。



●再生を止める

- ③機能切替スイッチを【テープ/切】に合わせます。
※⑦USB/SDランプと⑭電源ランプが消灯します。

●前のファイルに戻る

- ⑩-②前スキップ/早戻しボタンを押します。

●再生中のファイルを前に戻す

- ⑩-②前スキップ/早戻しボタンを長押しします。

カセットテープへ録音する

ラジオ、メディアプレーヤー、内蔵マイクの音声をカセットテープに録音する事が出来ます。

■録音の準備をする

録音可能なカセットテープを用意し、P9「●カセットテープを聴く」の手順に従いカセットテープをセットします。

■ラジオの音声を録音する

- 1 P8「●ラジオを聴く」の手順に従い、録音したい放送局に合わせます。
- 2 ⑪カセットテープ操作部の⑪-⑥録音ボタンを押すと⑪-⑤再生ボタンが同時に下がり、録音を開始します。
- 3 録音を終了するには、⑪-②停止/取出しボタンを押します。

■メディアプレーヤーの音声を録音する

- 1 P10「●メディアプレーヤー」の手順に従い、USBメモリまたはSDカードを準備します。
- 2 自動再生が始まる前にUSB/SD操作部の⑩-①再生/一時停止ボタンを押し、スタンバイ状態にします。
- 3 ⑪カセットテープ操作部の⑪-⑥録音ボタンを押すと⑪-⑤再生ボタンが同時に下がり、録音を開始します。
- 4 USB/SD操作部の⑩-①再生/一時停止ボタンを押し、再生します。
- 5 録音を終了するには、⑪-②停止/取出しボタンを押します。

録音時は⑪-⑥録音ボタンと⑪-⑤再生ボタンが同時に下がります。



●カセットテープへ録音する

■内蔵マイクの音声を録音する

- ③機能切替スイッチをスライドさせ、【テープ/切】に合わせます。
- ⑪カセットテープ操作部の⑪-⑥録音ボタンを押すと⑪-⑤再生ボタンが同時に下がり、内蔵マイクで収録された音声の録音を開始します。
※内蔵マイクでの音声録音中は、⑭電源ランプが点灯します。
- 録音を終了するには、⑪-②停止/取出しボタンを押します。

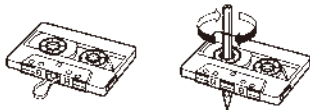
※テープ再生が最後まで終わると自動的に止まり、⑪-⑥録音ボタンと⑪-⑤再生ボタンが同時に上がります。

※早送り/巻戻しでは自動停止しませんので、終わったら⑪-②停止/取出しボタンを押して下さい。

△ツメが折れているテープがセットされている場合やテープが入っていない場合、⑪-⑥録音ボタンは下がりません。

カセットテープについて

- 再生中に音が鈍くなったときは、まれに酸化物や異物がテープに付着している場合があります。その場合は、ヘッドクリーニングテープのご使用をおすすめします。その際、摩擦を起こす恐れがありますので、使いすぎにはご注意ください。
- 先のとがったもので付着物をはがそうとしないでください。
- テレビやスピーカーなど、磁気のそばにテープを置かないでください。磁気はテープの感度を下げ、録音を消すおそれがあります。
- TYPE1(ノーマル)テープをお使いください。クローム/ハイポジション、メタルテープは使用できません。
- テープの巻きつきがきついつと感じるときは、テープの窓に隙が詰まっているように見えます。そのときは、一度テープを早送りして巻き戻してください。
- テープがゆるんでいるとからまり、テープを損傷するおそれがあります。図のように鉛筆などで直してからご使用ください。
- 温度や湿度が高いところや、ほこりが多い場所には長時間放置しないでください。



●お手入れの仕方

※お手入れの前に必ず電源プラグをコンセントから抜き、乾電池を取り出してください。

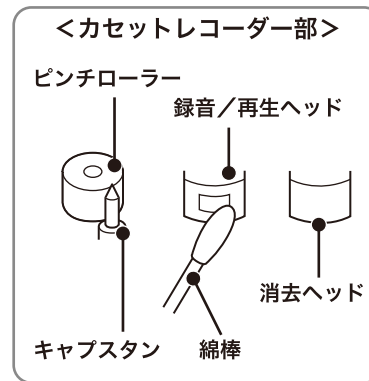
■本体のクリーニング

やわらかい布で軽くふいてください。汚れがひどいときは、水で薄めた中性洗剤に浸した布をよく絞ってふき取り、乾いた布で仕上げてください。△ベンジン・アルコール・シンナーなどの化学薬品は使わないでください。変色や変質の恐れがあります。

■カセットレコーダー部のクリーニング

カセットテープを良い音でお楽しみ頂くために、カセットレコーダー部のヘッド・ピンチローラー・キャプスタンをいつもきれいにしてください。これらが汚れていると、音が歪んだり、小さくなったり、録音できないなどの現象が起こります。さらにテープが絡まり、テープにダメージを与える場合があります。このようなときは、次の手順で清掃してください。

- ⑪-②停止/取出しボタンを押してカセットドアを開けます。
△カセットテープが入っているときはテープを取り出します。
- 綿棒に市販のヘッドクリーニング液を少し含ませ、ヘッド・ピンチローラー、キャプスタンをていねいに拭いてください。
- ヘッド、ピンチローラー、キャプスタンが乾いてから、カセットテープをご使用ください。



■結露について

本体を冷えきった状態のまま暖かい室内に持ち込んだり、急に室温を上げたりすると、動作部に露が生じ(結露)、本体の性能が発揮できなくなることがあります。このような場合は、1時間ほど放置をするか、徐々に室温を上げてから使用してください。

故障かな?と思ったら

発売元にご相談になる前に、もう一度下記内容をご確認ください。
ご不明な点がある時は、保証書にある発売元へお問い合わせください。

【製品共通】

症状	対処方法
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグをコンセントに入れてください。 本体の電源コード差込口に電源コードを奥までしっかりと差し込んでください。 乾電池が正しく入っているか確認してください。 乾電池が消耗したら、新しい乾電池と交換してください。
音がひずむ	<ul style="list-style-type: none"> 本体をテレビや蛍光灯等の電気製品から離してください。 音量を小さくしてください。

【カセットテープ】

症状	対処方法
テープが入らない	<ul style="list-style-type: none"> テープの露出面を上にして入れてください。
テープが回転しない	<ul style="list-style-type: none"> テープをカセットデッキに正しく入れてください。
テープが機械に巻きつく	<ul style="list-style-type: none"> 市販のヘッドクリーナーでピンチローラーやキャプスタンを掃除してください。 テープの弛みを直してからご使用ください。 古いテープはからまりやすく、テープにダメージを与えますので、使用しないでください。 60分以上のテープは使用しないでください。
早送り・巻戻しが遅い ／回転むらがある	<ul style="list-style-type: none"> テープの回転具合を確認し、回転の重いテープは使用しないでください。
音が割れる／雑音 ／音が震える ／音が飛ぶ	<ul style="list-style-type: none"> 市販のヘッドクリーナーでヘッドを掃除してください。 新しいテープと交換してください。
前に録音されている音が完全に消えない	<ul style="list-style-type: none"> TYPE1(ノーマル)テープをお使いください。クローム、ハイポジション、メタルテープは使用できません。

症状	対処方法
録音状態にならない	<ul style="list-style-type: none"> カセットデッキにテープが入っているか確認してください。 誤消去防止用ツメが折れている場合は、ツメのついているテープと交換をするか、セロハンテープなどでツメの穴を塞いでください。 市販のヘッドクリーナーで消去ヘッドを清掃してください。 ※無理に録音ボタンを押すと破損の恐れがあります。

【ラジオ】

症状	対処方法
雑音が入る	<ul style="list-style-type: none"> 周波数を正しく合わせてください。 F M受信時：アンテナの向きを調節してください。 A M受信時：本体の向きを調節してください。 乾電池でご使用ください。

【メディアプレーヤー】

症状	対処方法
USBメモリ/ SDカードを 認識しない	<ul style="list-style-type: none"> 入力切替で正しい入力を選択してください。 MP3形式のファイルが保存されているメディアをご用意ください。 メディアをしっかりと差し込んでください。

付属品販売のご案内

付属品(電源コード)は、破損や長期使用における経年劣化、紛失等の理由でお求めのお客様のために別途販売をしております。
お求めの際は、お買上げの販売店、または下記発売元までお問合せください。

発 売 元：株式会社クマザキエム

電 話：045-473-0002

受 付 時 間：月～金曜日 10～12時 / 13～17時

直販サイト：「ベアーマックスストア」<http://www.bearmax.jp>